

皆既月食・プラネタリウムで再現！

まるで皆既月食を観ているような赤銅色の月！

4月4日（土）に起こった皆既月食は、宵の見やすい時間帯でしたが、全国的に好天に恵まれず、四日市でも皆既月食を観ることができませんでした。

しかし、プラネタリウムでは、最新の機器で皆既月食を再現！時間とともに月が欠け、赤銅色になっていく月を楽しむことができました。これまでの投映機では、月食を再現することはできませんでした。



新しく開発した投映機によって、一万年先までの世界中で起こる皆既月食

や皆既日食、金環日食を再現することができますようになりました。

天文ボランティア主催「ガリレオ教室」

4月から天文ボランティア主催による「ガリレオ教室」が始まりました。この日は、皆既月食が起こるしくみについて模型を使いながら天文ボランティアが解説しました。毎月第2日曜日に11時と14時の2回、1回あたり20分程度の内容で模型やCG画像を使って解説しますので、みなさんもぜひ親子でご参加ください。次回、5月10日（日）は、「太陽系のふしぎ」をテーマに解説します。



プラネタリウムで再現した皆既月食

5月の見ごろの天体は？

7日 水星が東方最大離角

水星はいつも太陽の近くにいるために、見つけにくい惑星です。ところが、5月7日（木）は、太陽からもっとも東に遠ざかるため、日の入り直後の西の空で見つけやすくなります。



23日 土星が衝

5月23日（土）は、土星は太陽の正反対に見え、夜中の12時ごろに真南にやってきます。それと同時に、衝の時は地球と土星との距離が一番近くなりますから、土星が一番大きく見え観察に適しています。さそり座の赤く輝く1等星アンタレスの近くで見えていますから輝きの違いを楽しんでください。また、「きらら号」の望遠鏡で観察すると、大きく傾いて開いた土星の環がとても美しく見えます。



★ 春の星空散歩

春の星空案内人になってくれるのが、北の空でひしゃくの形に並んだ七つの星でできた北斗七星です。このひしゃくの柄の部分そのカーブに沿ってそのまま延ばしていくと、アークトゥルスに出会えます。アークトゥルスはオレンジ色に輝くうしかい座の0等星です。さらにカーブを延ばしていくと、今度は青白い色をしたきれいな1等星に出会えます。これは、おとめ座のスピカです。スピカは、アークトゥルスとしし座の2等星デネボラとともに、春の大三角をつくります。さらにカーブを延ばしていくと、ゆがんだ四角形の形をした星座に出会えます。これは



嘘つきのみせしめとして天にはりつけられたからす座です。

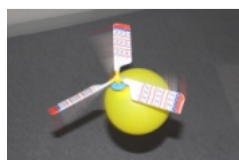
このようにしてできた大きな曲線が春の大曲線です。春の大曲線をたどりながら、春の星空散歩を試みませんか？

コズミックスクール 始まる！

コズミックスクールと題して、科学の楽しさや不思議に触れることができる、子ども向けのワークショップを年間7回行います。是非ご参加ください。
*5階コズミックラウンジで行います。
*事前申込みが必要な教室があります。
*教室ごとに参加費が必要です。
*詳しくは催し物のご案内やホームページ、または博物館までお尋ねください。

第1回目 『風船ヘリコプターを作ろう！』

風船から吹き出す空気力で空中に飛び上がる風船ヘリコプターを作ります。
日時：5月4日、5日、6日 10:00から12:00
対象：幼児（各日先着50組）
参加費：200円
申込み：当日受付（5階コズミックラウンジ）



観望会 移動天文車 「きらら号」

- ★ 5月17日（日）
時間：午前10時から午後3時
場所：四日市ドーム
内容：太陽と金星を見よう！
- ★ 5月23日（土）
時間：午後7時30分から午後9時
場所：市民公園
内容：月と金星、木星を見よう！
- *当日の自由参加です。
*天候不順の場合は中止します。



編集後記

博物館リニューアルオープンに合わせて、「天文だより」も今月から新しくリニューアルいたしました。その名も「銀河レポート401」
先月行われた様々な出来事や、その月に見ごろの天体、そして今月のイベント情報など、盛りだくさんでお伝えしていきます。

